



閏年（うるうどし） 1年 ⇒ 365.2422日

2020年は「閏年」（うるうどし）です。2月は普通「28日」までですが、閏年は1日増え「29日」までとなります。よって、2月29日は、毎年あることではないということになりますが、その場合、2月29日が誕生日の人の年齢はどうなるのでしょうか。また、閏年は4年に一度巡ってくると言われていますが、実際はそうではないようです。



1年間の日数が平年（普段の年）より多い年のことを「閏年」と言います。現在、世界の多くの国で「グレゴリオ暦」というものが使われています。別名「太陽暦」「新暦」とも呼ばれ、1582年にローマで作られ世界に広がりしました。日本では明治5年（1872年）から採用されています。このグレゴリオ暦は、地球が太陽の周りを回る周期を基準に作られており、その日数は365.2422日になっています。「1年間は365日…」と知っている方も多いと思いますが、小さな単位まで見ると、1年間で0.2422日、余分な時間があるのです。この余分な時間は、4年間で約0.9688日となり、ほぼ1日にあたります。そのため、4年に一度だけ1日増やして366日にすることで、誤差を修正しているのです。また、閏年を決めるため、①西暦年数が4で割り切れる年は原則として「閏年」とする ②上記の例外として、西暦年数が100で割り切れる年は「平年」とする ③さらに例外として、西暦年数が400で割り切れる年は「閏年」とする、という規則も存在します。この規則で計算すると、2020年は4で割り切れるので閏年ということになります。

さて、誕生日が2月29日の人の年齢はどうなるのでしょうか？基本的には4年に一度しか巡ってこない2月29日が誕生日の場合、4年に一度しか年を取らない…というわけではありません。誕生日とは、生まれた日のことを言いますが、いつ年を取るかは年齢計算に関する法律によって決められています。「年齢計算に関する法律」「民法143条」では、人が年を取るのは誕生日の前日ということになると決められています。閏年のときは、誕生日の前日である2月28日に年を取り、平年は2月末日の2月28日に年を取ります。したがって、2月29日生まれの人は閏年でも平年でも、2月28日に年を取るというわけです。

閏年は、必ずしも4年に一度巡ってくるわけではないことがわかりました。3つの規則に従うと、次は2100年までは4年に一度閏年になるようです。1900年は4で割り切れて、100でも割り切れて…。しかし、400では割り切れないので閏年ではありませんでした。そう考えると、2000年は閏年の特殊なことだったのかもしれませんが。

また、2月29日が誕生日の人の場合、「年を取った翌日が誕生日」ということから、平年は3月1日を誕生日とするそうです。誕生日は、誰にでも平等に訪れるのですね。